

F-Secure Policy Manager for Windows 15 Series

Install Guide

エフセキュア株式会社



●免責事項

本書は、本書記述時点の情報を基に記述されており、特に断りのない限り、本書内の記述は、本書記載時の製品のバージョンを基にしております。例の中で使用されている会社、名前およびデータは、別途記載のない限り架空のものとなります。

エフセキュア株式会社（以下、弊社）は、本書の情報の正確さに万全を期していますが、本書に記載されている情報の誤り、脱落、または、本書の情報に基づいた運用の結果について、弊社は、如何なる責任も負わないものとします。本書に記載されている仕様は、予告なく変更する場合があります。

●商標

F-Secure および三角形の記号はエフセキュア株式会社の登録商標です。また、弊社の製品名および記号／ロゴは、いずれも弊社の商標です。本書に記載されている全ての製品名は、該当各社の商標または登録商標です。弊社では、自社に属さない商標および商標名に関する、いかなる所有上の利益も放棄します。

●複製の禁止

本書の著作権は弊社が保有しており、弊社による許諾無く、本書の一部であっても複製することはできません。また、譲渡もできません。

●お問い合わせ

弊社は常に資料の改善に取り組んでいます。そのため、本書に関するご質問、ご意見、ご要望等ございましたら、是非 japan@f-secure.co.jp までご連絡ください。

1. リリースノートをご覧頂き、対象サーバ機が Policy Manager の動作要件を満たしているかご確認ください。
(併せて Policy Manager 管理者ガイドもダウンロードください。)

[\[Policy Manager リリースノート\]](#)

[\[Policy Manager 管理者ガイド\]](#)

2. 以下のサイトよりインストーラをダウンロードします。

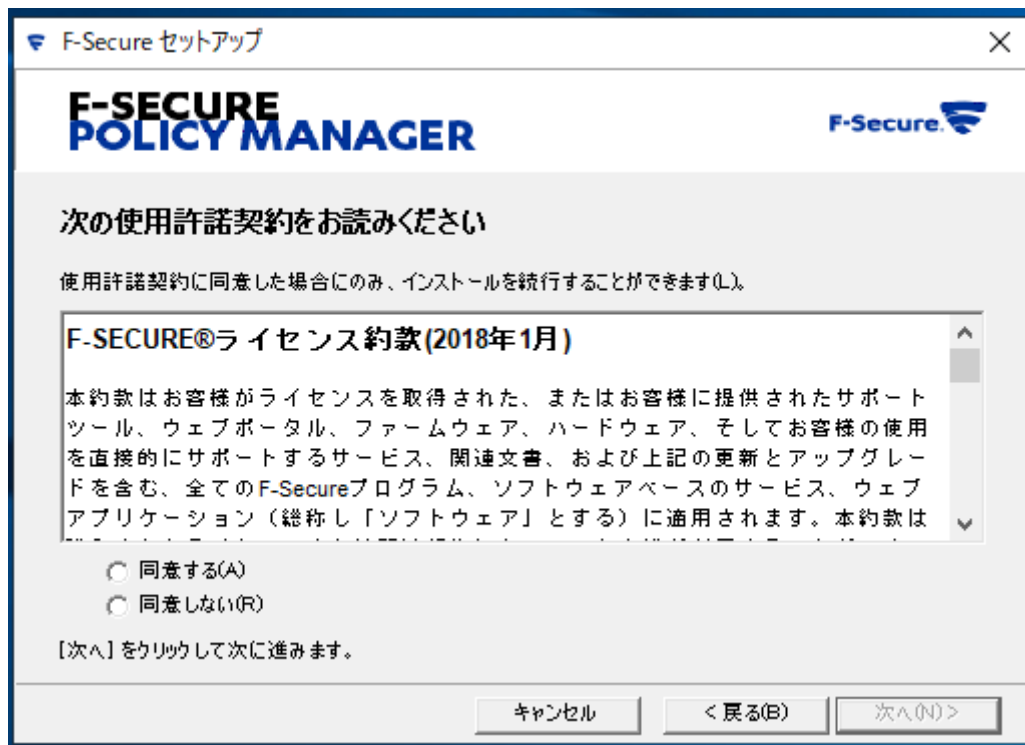
[\[Policy Manager ダウンロード\]](#)

3. ダウンロード頂いたインストーラを管理者権限で実行します。

4. インストール言語を選択して[次へ]を押します。



5. 使用許諾契約に同意頂ける場合、“同意する”を選択し[次へ]を押します。



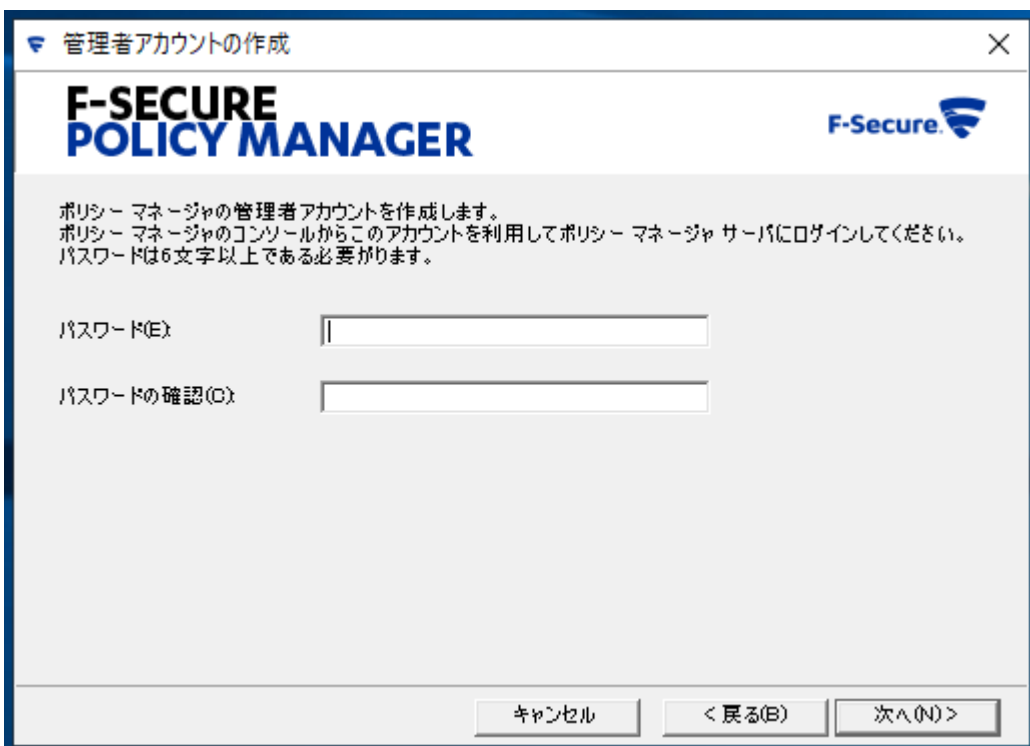
6. インストールコンポーネントを選択し[次へ]を押します。



7. インストール先フォルダを選択し[次へ]を押します。



8. Policy Manager へログインする際のパスワードをお決め頂き、入力の上[次へ]を押します。



9. Policy Manager への通信ポート番号等を設定し[次へ]を押します。

ポートを設定する

F-SECURE POLICY MANAGER

ポリシー マネージャ サーバの各モジュールのポートを設定してください。

各ホストは、ホスト モジュールへアクセスできることが必要となります。

ポリシー マネージャ コンソールは管理モジュールへのアクセスが必要です。ポリシー マネージャ コンソールと管理モジュールを同じマシンで実行する予定でしたら、ポリシー マネージャ コンソールのアクセス設定をローカル マシンに制限することを推奨します。

Web レポート モジュールはオプションのモジュールで、グラフ形式でレポートを表示できる機能を備えています。

Host Module (Host モジュール)

HTTP ポート(H):

HTTPS ポート(S):

Management Module (管理モジュール)

ポート(O): アクセスをローカル マシンのみに制限する(S)

Web Report Module (Web レポートモジュール)

有効(E) ポート(O):

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) >

ホストモジュール(HTTP ポート):

各ホストが Policy Manager からパターンファイルを取得する際のポート番号です。

ホストモジュール(HTTPS ポート):

各ホストが Policy Manager から設定の取得やステータス送信に用いる際のポート番号です。

管理モジュール:

Policy Manager Console を使って Policy Manager へ接続する際のポート番号です。

他の端末にて Policy Manager Console をご利用の場合には、“アクセスをローカルマシンのみに制限する”のチェックを外してください。

Web レポートモジュール:

Web レポートをご利用になられる場合に用いるポート番号です。

ご利用になられる場合には“有効”のチェックが入っている状態にしてください。

※通常、すべてデフォルト値のまま結構でございます。

後から設定変更可能です。

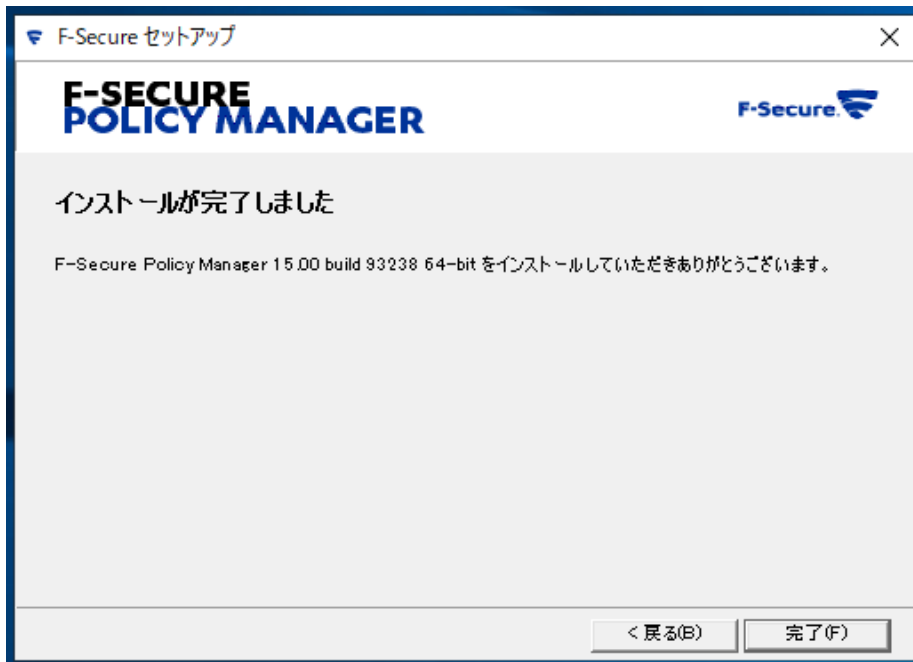
10. [開始]を押して頂きインストールを開始します。



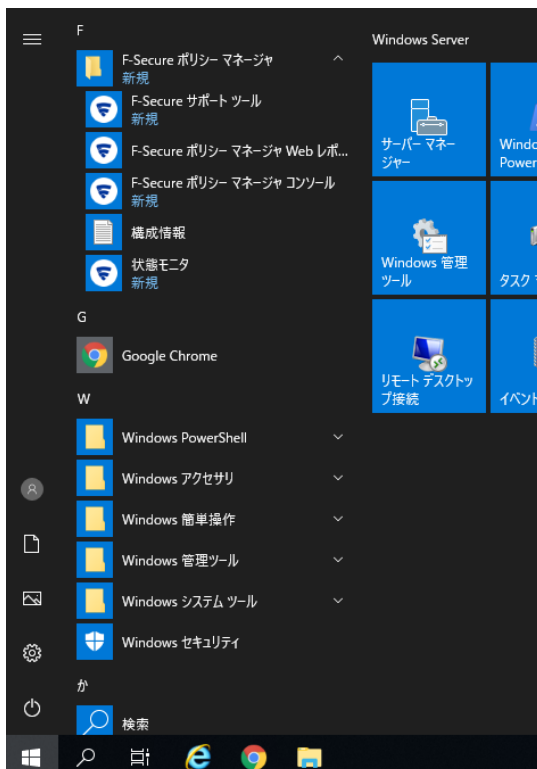
11. インストールが完了致しましたら[次へ]を押します。



12.[完了]を押していただきインストールを完了します。



13.インストール後にご利用いただける各アプリケーションは以下の通りとなります。



F-Secure サポートツール:

Policy Manager に障害等問題が発生し弊社にてお調べする場合に情報を収集するツールです。

F-Secure ポリシーマネージャ Web レポート:

ブラウザ上で各種レポート機能をお使いになれる際にご利用頂きます。

F-Secure ポリシーマネージャコンソール:

Policy Manager を操作する際のコンソール画面となります。

構成情報:

インストール時に設定されたポート番号等をメモ帳にてご確認頂けます。

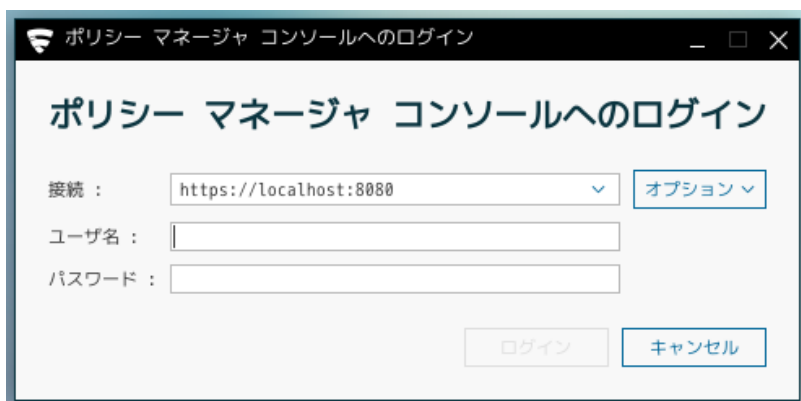
状態モニタ:

Policy Manager のサービス状態を確認する画面となります。

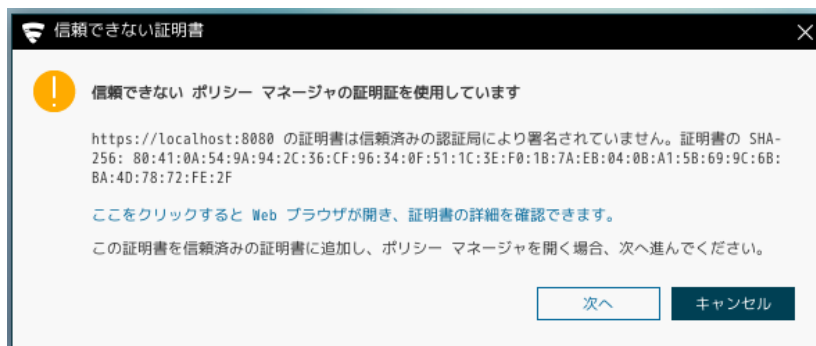
14. Policy Manager へのログインについてご説明します。

F-Secure ポリシーマネージャコンソールを起動いたしますとログイン画面が表示されます。

ユーザ名(デフォルト: admin)・パスワード(インストール時に入力頂いた値)を入力しログインしてください。



ログイン後、以下の証明書に関する確認メッセージが表示されますので[次へ]押してください。



既にライセンスをお持ちの場合には顧客 ID を入力頂き[次へ]押してください。

評価版としてご利用になられる場合には、“登録する前に製品を評価する”を選択頂き[次へ]押してください。



評価版の場合、30 日間機能制限なくご利用頂けます。

評価版でご利用の場合、ログイン時に毎回この画面が表示されます。製品版に切り替えられる場合には、顧客 ID を入力頂き[次へ]押してください。※ポリシーマネージャの登録に失敗する場合やオフライン環境下でお使いの場合：

“ポリシーマネージャを登録する”画面では、入力された顧客 ID を基にライセンス認証サーバへアクセスします。ファイアウォールによりライセンス認証サーバ(https://corp-reg.f-secure.com:443)へのアクセスが許可されていない場合には通信を許可するようご設定ください。

ファイアウォールによる通信制限を解放できない場合やオフライン環境下でお使いになられる場合には、オフライン認証用トークンファイルによる認証が必要となります。以下のドキュメントをご覧頂きオフライン認証用トークンファイル発行をご依頼ください。

[ポリシーマネージャ 顧客 ID 登録ガイド]

[ポリシーマネージャ構築ガイド\(PDF\)](#)

(12 ページを御覧ください)